



## 1. 豊田事業所 環境安全方針の変更について

豊田事業所は、ISO14001認証登録事業所

目的：環境マネジメントシステムの継続的改善を進めることにより、環境の保全と安全の確保を図る

平成26年6月に国が定める「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」が変更

- ・処理完了に向けての新たな処理期限を設定
- ・JESCO 5事業所の処理能力を相互に活用
- ・安定器等・汚染物の処理を明確化 など



豊田事業所の環境安全方針を変更

新たな方針の実現に向け、一日も早い処理完了を目指します。

豊田事業所環境安全方針についてはJESCOホームページ

<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/environment/houshin.html> をご覧ください。

## 2. 安定器等・その他汚染物登録説明会について



平成26年6月に「PCB廃棄物処理基本計画」が変更され、東海4県に保管されている安定器等・汚染物は一部を除き、JESCO北九州事業所で処理を行うこととなりました。

JESCOでは東海4県に保管されている安定器等・汚染物の計画的処理に向けて登録説明会を順次開催して参ります。9月26日に豊田市で第1回目の説明会を開催し、34社の事業者の方々にご出席いただきました。

今後も、10月に愛知県内、11月に三重県内、12月に岐阜県内、1月に静岡県内での開催を予定しております。

## 3. 産業医による健康講話の実施について

豊田事業所では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的実施しており、本年度第2回目を9月30日に開催しました。

10月1日から始まる全国労働衛生週間のスローガンが「みんなで進める職場の改善～心とからだの健康管理」であることから、今回は「ストレスチェック義務化に伴う職場におけるメンタルヘルス対策について」をテーマに、現代病ともいわれる精神医療の問題やメンタルヘルスケアの具体的な方策、精神疾患における個人の問題、社会の問題などについて、ご講話いただきました。



## PCB処理事業紹介シリーズ 第9回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設に廃棄物を受け入れ、処理する前に一時的に保管するための設備についてご紹介します。

### コンデンサ・小型トランスの受け入れ

右の写真のように、収集運搬事業者が搬入してきたトラックから、漏れ防止型金属容器に入れた状態で、フォークリフトを使って受け入れを行います。

そのままフォークリフトで受入検査室に搬入し、コンデンサや小型トランスからPCBの漏れの有無を確認します。  
万が一、漏れが見つかった場合は、金属用補修材などを使用して補修します。



### 自動立体倉庫で保管

比較的小型のトランスやコンデンサの場合は、受入検査室での検品が終了し、問題がないことを確認した後、大きさや種類別に分類して、自動立体倉庫で一時的に保管を行います。

### 大型トランスの受け入れ

大型トランスを受け入れる場合は、右の写真のように備え付けのクレーンを使って、収集運搬業者のトラックから降ろし、受入検査室で検品後、一時保管をせずに、解体処理を開始します。

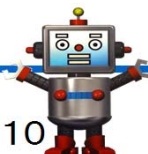


アザランのピーちゃん

問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社 (JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸